

予算・決算委員会（平成29年度補正予算審査）

一般会計補正予算では、土木費について質疑が集中しました。

**要緊急安全確認大規模建築物耐震化
促進事業補助金に関する質疑**

米田 登美子

質 本補助金の新制度における協定の内容と締結について。

答 ①避難所の開設②避難所としてのサービスの提供③防災訓練への参加④食糧などの備蓄対策の推進⑤避難所として協定の有効期間10年以上活用することを内容とし、7月中旬の協定締結に向けて事務を進める。

千田 文孝

質 市負担の当初耐震化補助金と新補助制度との差分による遡及調整で、避難所の協定に対応いただいた事業者に感謝する。本来、遡及調整は行わないが、道や国への働き掛けは行ったのか。

答 道への要請は行ったが受けられず、また、市長も掛け合ったが受けられなかった。

辻 弘之

登別温泉地域における大規模建築物の耐震化に対する事業補助金について質問しました。補助要件となる「災害時ににおける避難所としての施設利用に関する協定」締結文が示される前に補正予算審議されることや、補助要件の内容を受益者と直接協議することが特殊な事例であることを確認しました。

天神林 美彦

この事業補助金（単独分）59万円については、厳しい財政状況下における一般財源からの予算計上です。

新補助制度活用を判断した経緯からすると「公平性などの観点」ではなく、「市内経済の活性化」と「市民の安全確保」を、さらに推進させることが大きな理由であることを確認しました。

**多子世帯の保育料は
独自の軽減策が必要！
二瓶 秀幸**

多子世帯の保育料軽減支援事業費補助金における歳入の保育所運営費保護者負担金と道支出金について、新制度の内容を質疑し、道内市町村の独自支援を引き合いに出しながら本市の施策をただししました。

少子化や人口減の問題が指摘されている中、歳入の保護者負担金を減らしても、市独自の支援は必要であると訴えました。

平成29年第2回定例会における 議案の賛否状況（挙手採決議案のみ掲載）

議案	賛成議員	反対議員	結果
登別市下水道条例の一部改正について	井野、小栗、木村、工藤、佐藤、千田、辻、天神林、戸井、二瓶、松山、宮武、村井、米田、若木	渡辺、佐々木	可決

議員自己評価の 取り組みについて

本市議会では、議会改革への取り組みの一環として、議員自己評価を実施しています。これは登別市議会基本条例の理解と順守の推進、および条例に基づく、より活発な議員・議会活動を推進するための取り組みであります。条例の条項に添った47項目の設問に対し、毎年度、自己評価を行い、その評価を基に議会運営委員会2年ごとに自己評価集計表を作成し、その検証を行い、課題の抽出とその対応について協議を行ってまいります。

抽出した課題、未実施・未達成項目について、年間活動計画で申し送りをするなど、議員個々また、議会全体で意識して取り組み、確実に対応することで、議会活動の活性化、さらなる充実・強化へつなげるものであります。

今後の課題としては、検証のあり方や課題解決に向けたさらなる改善や活用について協議し取り組みを推進してまいります。（成田）

地域包括ケアシステムへの 大きな一歩

1月に開催した「あなたも関わる地域包括ケアシステムを知ろう!!」のお互いさまが地域をつくる」の第2弾として、5月29日、兵庫県朝来市地域包括支援センターの足立里江（あだち りえ）ケアマネジャーを講師に迎え、議員研修会を開催しました。

市民や医療・福祉関係者など多数の参加があり、市民の地域包括ケアシステムへの関心の高さを示すとともに、いろいろな立場の方々との連携によるシステム構築に向けた大きな一歩であったと思いました。

研修会では、朝来市の具体的な取り組み事例やその考え、システム構築に向けた留意点と進め方などの大切なポイントの説明がありました。朝来市では、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されており、本市の仕組みづくりに結びつく、有益な講演でした。（松山）



足立里江氏

○議員自己評価QRコード



※議員自己評価集計表は、市議会ホームページに掲載しています。

